

## 第2回防災推進国民会議 議事要旨

1. 日時 平成28年10月20日（木） 10：44～10：58

2. 場所 官邸2階大ホール

3. 出席者 別紙1

4. 議事

(1)開会

(2)主催者挨拶（内閣総理大臣） 別紙2

(3)議題

①防災推進国民会議のこれまでの活動について

②防災推進国民会議の今後の活動方針について

③構成団体等の取組について

1) 日本生活協同組合連合会

2) 公益社団法人日本看護協会

(4)閉会

5. 配布資料

資料1：防災推進国民会議 議員名簿

資料2：防災推進国民会議のこれまでの活動について

資料3：防災推進国民会議の今後の活動方針について（案）

資料4：日本生活協同組合連合会資料

資料5：公益社団法人日本看護協会資料

参考資料1：防災推進国民会議の開催について

参考資料2：防災推進国民会議の運営について

参考資料3：第1回防災推進国民大会について

6. 議事概要

①防災推進国民会議のこれまでの活動について

近衛議長から資料2の通り報告された

②防災推進国民会議の今後の活動方針について

近衛議長から説明があり、資料3の通り決定された

③構成団体等の取組について

日本生活協同組合連合会、公益社団法人日本看護協会からそれぞれの取組等について資料4、資料5の通り報告があった。

以上

出席者（敬称略、議員の50音順）

議長 近衛 忠輝（日本赤十字社社長）  
副議長 秋本 敏文（公益財団法人日本消防協会会長、  
一般財団法人日本防火・防災協会会長）

浅田 克己（日本生活協同組合連合会会長）  
阿部 一彦（日本障害フォーラム代表）  
青木 隆典（一般社団法人日本民間放送連盟常務理事：井上弘議員代理）  
花木 啓祐（日本学術会議副会長：大西隆議員代理）  
本間 俊（全国連合小学校長会副会長：大橋明議員代理）  
大沼 淳（日本私立大学団体連合会副会長：鎌田薫議員代理）  
清原 正義（一般社団法人公立大学協会会長）  
神津 里季生（日本労働組合総連合会会長）  
伊藤 清彦（公益社団法人経済同友会常務理事：小林喜光議員代理）  
寺尾 徹（社会福祉法人全国社会福祉協議会常務理事：斎藤十朗議員代理）  
山内 隆司（一般社団法人日本経済団体連合会  
審議員会副議長・社会基盤強化委員長：榊原定征議員代理）  
中板 育美（公益社団法人日本看護協会常任理事：坂本すが議員代理）  
木谷 雅人（一般社団法人国立大学協会常務理事：里見進議員代理）  
鹿谷 史明（一般社団法人日本雑誌協会理事長）  
川嶋 明（一般社団法人日本新聞協会専務理事：白石興二郎議員代理）  
高橋 淳（全国消防長会会長）  
田邊 俊治（全国市町村教育委員会連合会会長）  
高尾 展明（公益社団法人日本PTA全国協議会専務理事：寺本充議員代理）  
中井 敬三（全国都道府県教育委員会連合会会長）  
野川 政文（全国都道府県議会議長会会長）  
藤原 忠彦（全国町村会会長）  
堀 憲郎（公益社団法人日本歯科医師会会長）  
松浦 正人（全国市長会会長代理）  
丸山 康昭（公益社団法人全国子ども会連合会会長）  
靱井 勝人（日本放送協会会長）  
古尾谷 光男（全国知事会事務総長：山田啓二議員代理）  
山本 樹育（公益社団法人日本青年会議所会頭）  
山本 信夫（公益社団法人日本薬剤師会会長）  
中川 俊男（公益社団法人日本医師会副会長：横倉義武議員代理）  
和田 章（防災学術連携体代表幹事）

安倍内閣総理大臣挨拶

第2回防災推進国民会議の開催に当たり、一言御挨拶申し上げます。

まず、改めて、熊本地震や先般の台風による豪雨被害等でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。被災された方々は、未だ大変な御苦勞をしておられます。「できることは、すべて行う」という方針のもと、暮らしと生業の再建に全力で取り組んでまいります。

さて、「防災推進国民会議」が昨年9月に発足して、一年が経ちました。皆様方におかれましては、本国民会議の活動へ御協力いただき、厚く御礼申し上げます。皆様方には日頃から、事前対策、発災時の諸活動や被災者のケア、地域防災など、ソフト・ハードなど様々な分野で御活躍いただき、感謝申し上げます。

本国民会議の最も大切な役割は、皆様方の知識や経験を始め、防災に関する様々な知見を広く国民に共有していただき、国民の防災意識を総合的に高めることによって、国民一人一人が命を守るための行動をとることができるようにすることにあります。本国民会議の活動を通じて、「自助・共助」による国民の防災総合力が高まっていくことを期待しております。

また、防災に係る知見は、我が国での共有にとどめることなく、世界に向けて発信すべきものであります。昨年12月の国連総会において我が国の主導により「世界津波の日」が制定され、11月5日は最初の「世界津波の日」となります。我が国は防災先進国としての務めも果たさなければなりません。皆様方の活動一つ一つが、防災に関するより良い実践例として我が国には蓄積されています。これらを政府と皆様方が共に発信することにより、世界に貢献して参りたいと考えております。

皆様方が携わっておられるどの分野が欠けても、我が国の防災は成り立ちません。今後とも、各分野のリーダーである皆様の一層のご協力を賜りますようお願いし、私の挨拶とさせていただきます。

～ 以 上 ～